

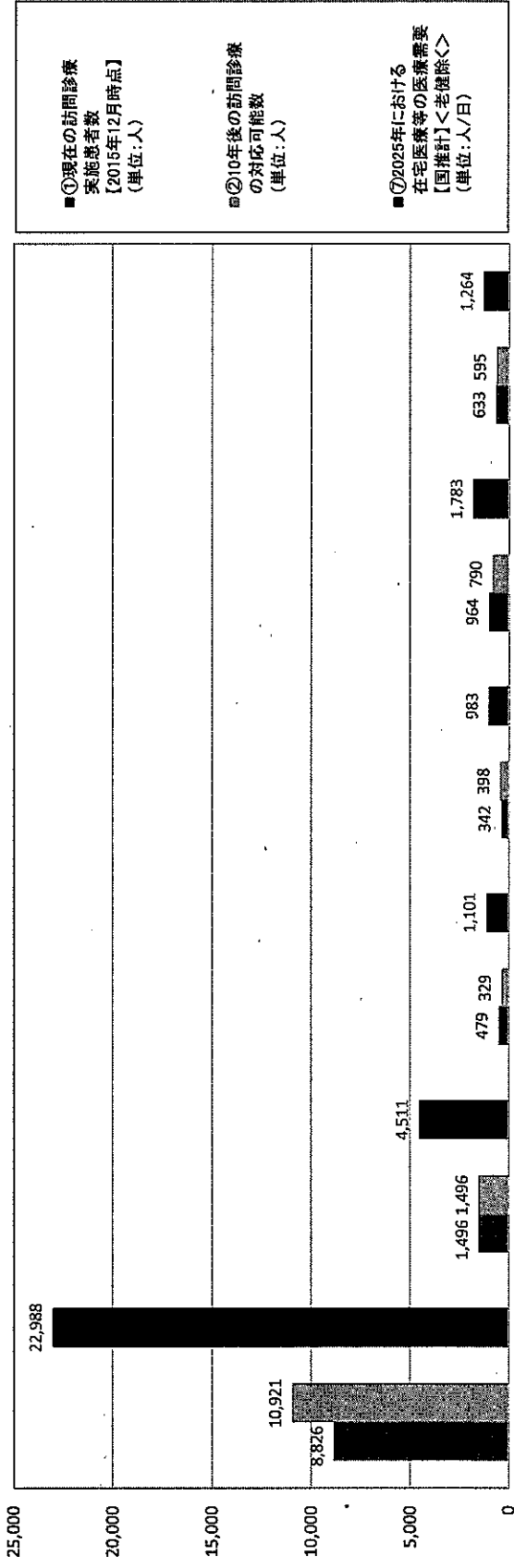
◆現在及び10年後における訪問診療提供可能数と在宅医療等の医療需要

＜二次医療圏別＞

二次医療圏	【すべての診療所+病院】		（単位：人）		（単位：人/日）		（単位：人/日）		（単位：人/日）		（単位：人/日）		供給率 (②÷⑦)
	①現在の訪問診療実施患者数 (2015年12月時点)	②10年後の訪問診療の対応可能数	増減 (②-①)	③2025年における在宅医療等の医療需要 【国推計】 (④+⑤+⑥)	④2015年の在宅医療等の医療需要 【国推計】 (A+B)	A (訪問診療)	B (老健施設)	⑤自然増 (2025年)	⑥追加分(2025年) 【国推計】 (③-B)	⑦2025年における在宅医療等の医療需要 【国推計】 (③-B)	供給率 (②÷⑦)		
1. 京都・乙訓	8,826	10,921	2,095	27,498	14,113	9,603	4,510	8,078	5,307	22,988	47.5%		
2. 山城北	1,496	1,496	0	5,551	2,872	1,832	1,040	1,873	806	4,511	33.2%		
3. 山城南	479	329	-150	1,366	820	555	265	463	83	1,101	29.9%		
4. 南丹	342	398	56	1,465	942	460	482	300	223	983	40.5%		
5. 中丹	964	790	-174	2,546	1,944	1,181	763	179	423	1,783	44.3%		
6. 丹後	633	595	-38	1,553	1,093	804	289	28	432	1,264	47.1%		
京都府合計	12,740	14,529	1,789	39,979	21,784	14,435	7,349	10,921	7,274	32,630	44.5%		
増減比率			14.0%										

※京都府医師会在宅医療取り組み状況アンケート調査(2016年2月)より
回答率 73.5% (1579/ 2148)

(人) (人/日)



1. 京都・乙訓 2. 山城北 3. 山城南 4. 南丹 5. 中丹 6. 丹後

■①現在の訪問診療実施患者数
【2015年12月時点】
(単位：人)

■②10年後の訪問診療の対応可能数
(単位：人)

■⑦2025年における在宅医療等の医療需要
【国推計】<老健除く>
(単位：人/日)